

2021 年度 卒業年次生アンケート 結果報告

大学事務部 IR 推進室

1. 概要

- (1) 実施日：2022 年 3 月 10 日（木）
- (2) 対象者：2021 年度卒業年次生 856 名
→卒業延期や在学期間延長等の理由により、2022 年度も在籍する学生を除いた、卒業確定者の人数。
- (3) 回収したアンケート数：714 件（回収率：83.4%）
→うち、回答が全く記入されていない 54 件は無効として、集計から除外。
- (4) 集計対象としたアンケート数：660 件（有効回答率：77.1%）

（図表 1）2021 年度卒業年次生アンケート回収状況

学科名(カッコ内は略称)	対象者	回収	未回収	回収率
日本語日本文学科（日文）	90	74	16	82.2%
英語文化コミュニケーション学科（英文）	107	76	31	71.0%
子ども教育学科（教育）	91	51	40	56.0%
メディア情報学科（メディア）	59	45	14	76.3%
生活デザイン学科（デザイン）	42	38	4	90.5%
小計《学芸学部》	389	284	105	73.0%
社会マネジメント学科（社会）	86	59	27	68.6%
人間心理学科（心理）	90	67	23	74.4%
小計《人間社会学部》	176	126	50	71.6%
健康栄養学科（健康）	79	71	8	89.9%
管理栄養学科（管理）	95	85	10	89.5%
小計《栄養科学部》	174	156	18	89.7%
計《大学》	739	566	173	76.6%
食物栄養学科（栄養）	117	94	23	80.3%
計《短期大学部》	117	94	23	80.3%
計《回答なし》	-	54	-	-
アンケート回収数	856	714	142	83.4%
集計対象とするアンケート数		660	-	77.1%

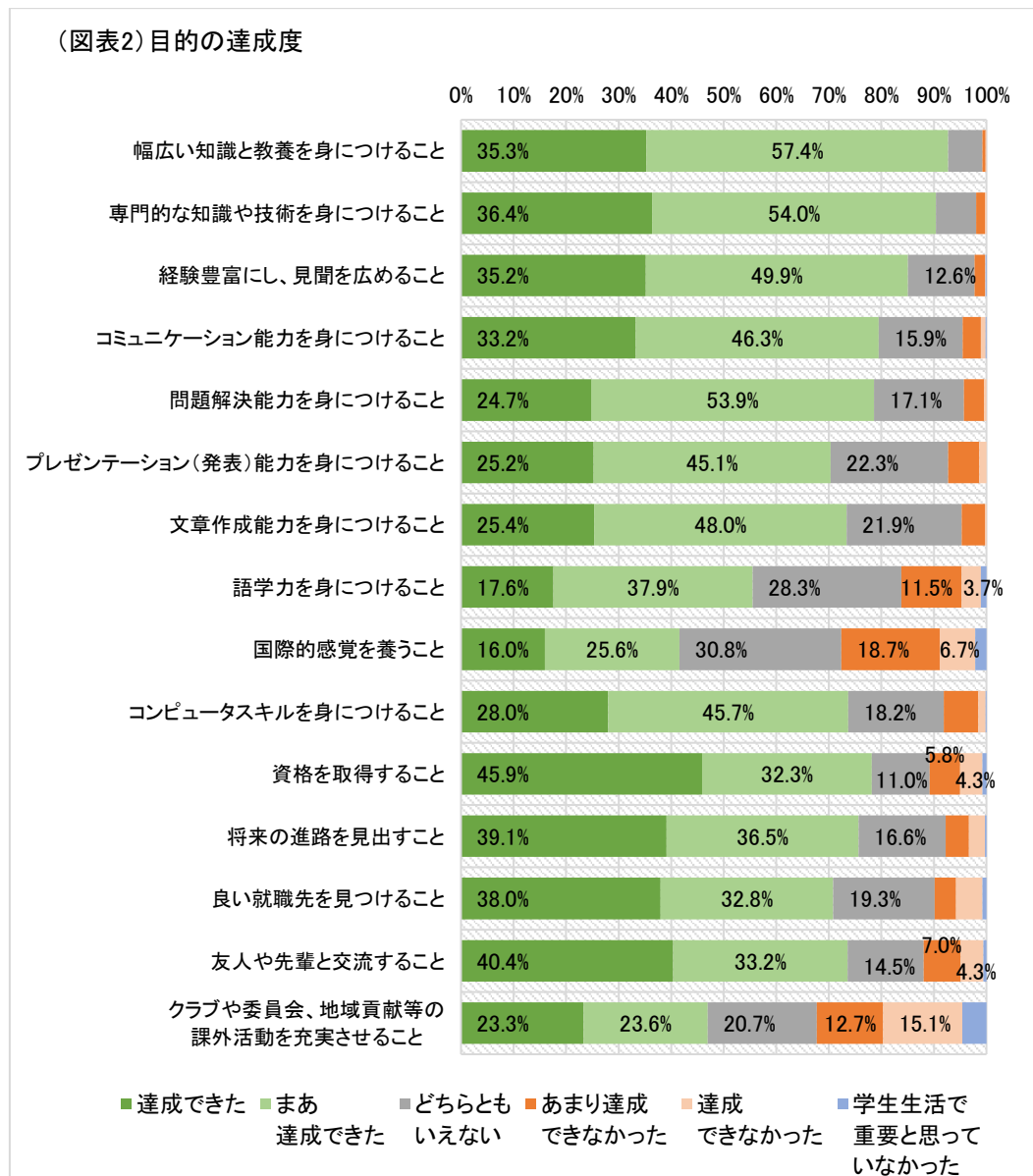
【参考】春学期卒業者を加えた 2021 年度全卒業者数から見た回収率（有効回答率）は以下のとおり。

大学 … 卒業者数：748 名 回収率（有効回答率）：75.7%

短期大学部 … 卒業者数：118 名 回収率（有効回答率）：79.7%

2. 各項目の分析

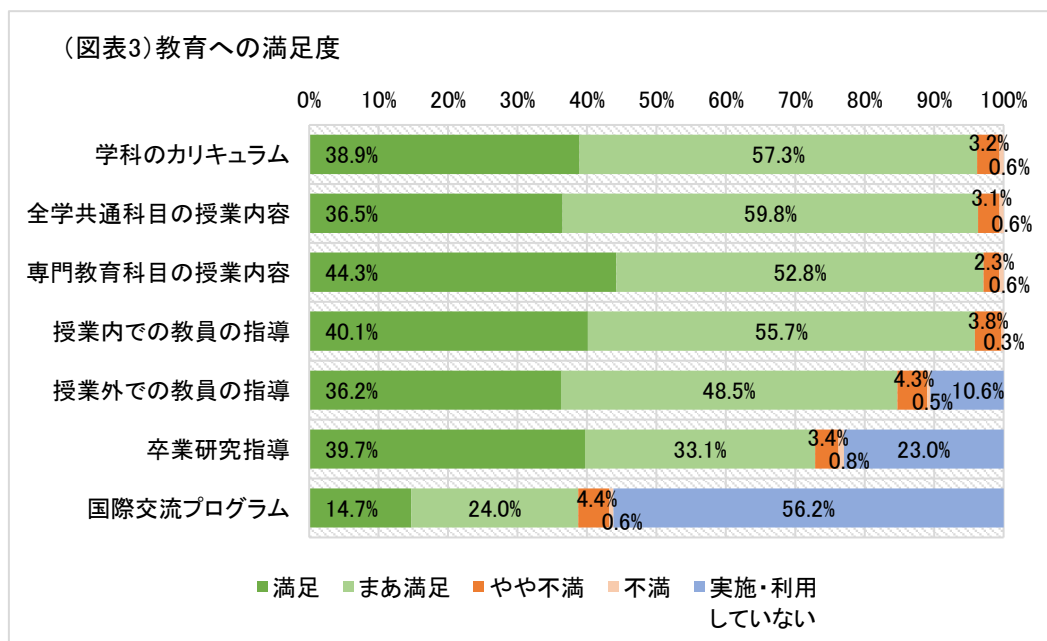
(1) 目的の達成度について



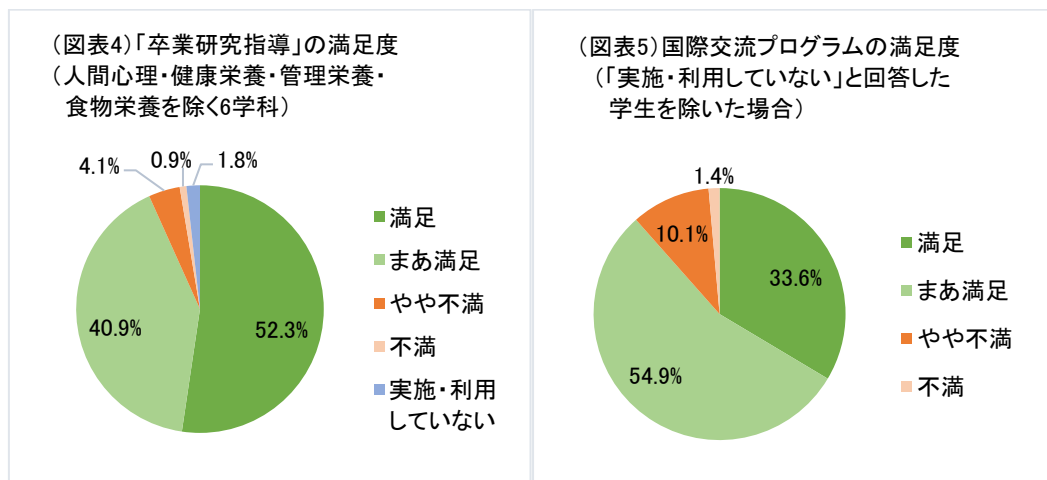
※肯定回答以外は、1割を超えるもの（否定回答は合算で）のみ割合を掲載。

- ・「語学力を身につけること」「国際的感覚を養うこと」「クラブや委員会、地域貢献等の課外活動を充実させること」以外の12項目で、肯定回答率（「達成できた」「まあ達成できた」と回答した割合）が7割以上であった。
- ・「幅広い知識と教養を身につけること（92.7%）」「専門的な知識や技術を身につけること（90.4%）」「経験豊富にし、見聞を広めること（85.1%）」は、2017年度から5年連続で肯定回答率が8割を超えている。
- ・「友人や先輩と交流すること」と「クラブや委員会、地域貢献等の課外活動を充実させること」は、前年度から肯定回答率が10ポイント以上減少した一方、否定回答率（「あまり達成できなかった」「達成できなかった」と回答した割合）が前者は5.9ポイント、後者は7.5ポイント増加した。設問内容から、コロナ禍により学生生活が制限されたことが、少なからず達成度の低下に影響したと考えられる。

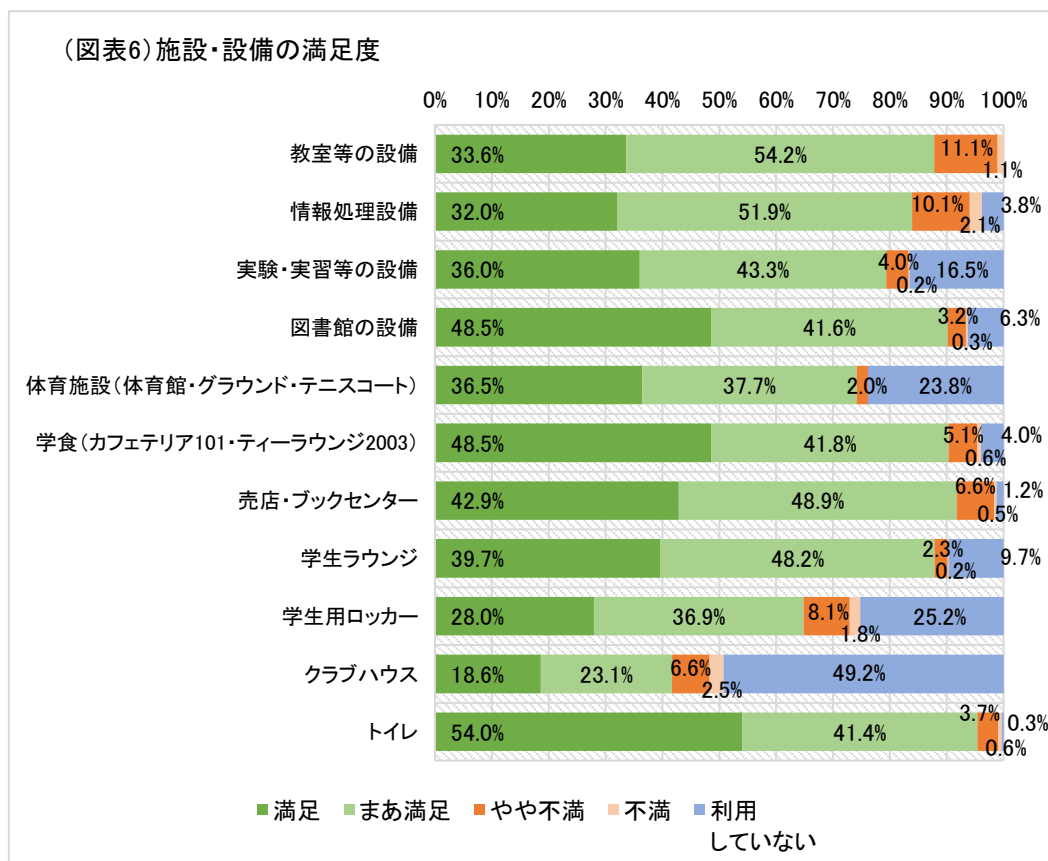
(2) 教育への満足度について



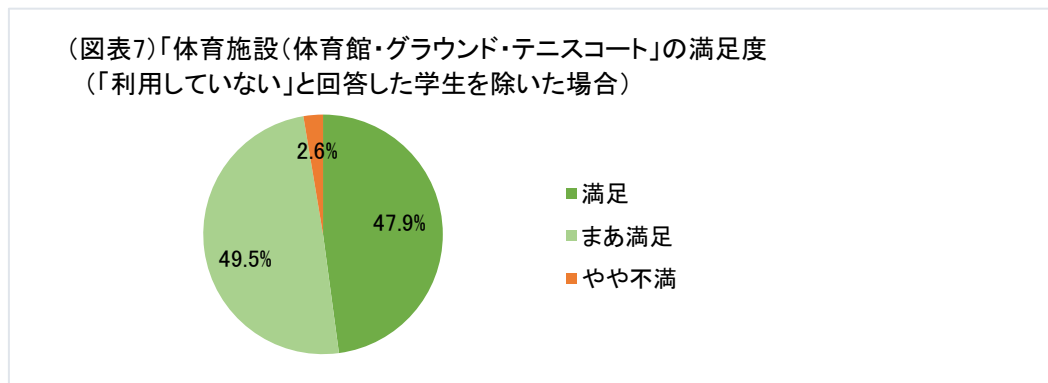
- ・「学科のカリキュラム」から「授業内での教員の指導」までの4項目の肯定回答率（「満足」「まあ満足」と回答した割合）は、4年連続で9割を超えている。
- ・「卒業研究指導」以外の6項目で、「満足」と回答した割合が前年度から増加した。
- ・すべての項目で、否定回答率（「やや不満」「不満」と回答した割合）が1割を下回り、さらに「不満」と回答した割合は1%に満たなかった。
- ・「卒業研究指導」の肯定回答率は、「実施・利用していない」と回答した割合が多い人間心理（56.3%）・健康栄養（52.9%）・管理栄養（27.4%）・食物栄養（52.1%）の4学科を除くと93.2%と9割を超えている。
- ・「国際交流プログラム（留学・語学研修・English Room・キャンパス留学）」は、「実施・利用していない」と回答した割合が5割を超えている。そのため、他の項目に比べて肯定回答率が極端に低いように見えるが、「実施・利用していない」以外の回答総数を分母として算出すると、9割近い88.5%の学生が肯定回答を選択していることになる。



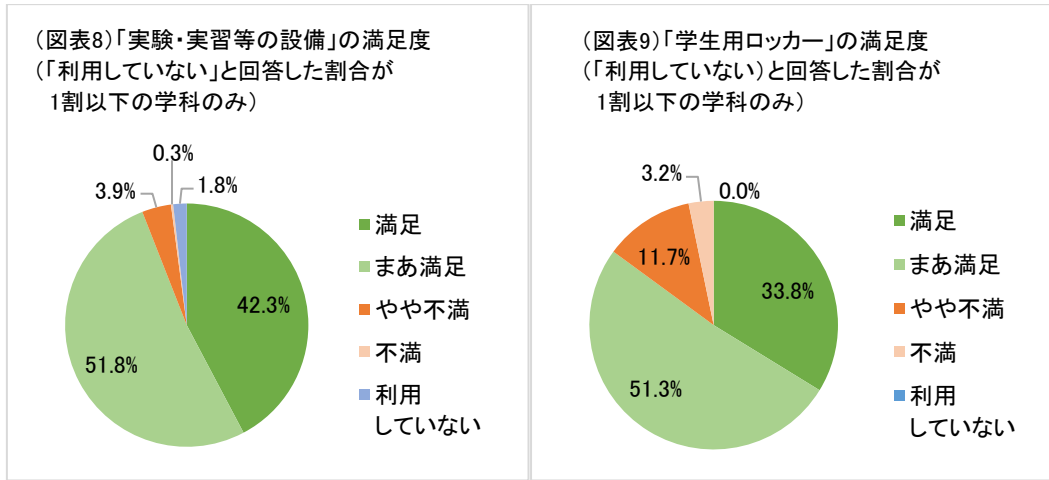
(3) 施設・設備への満足度について



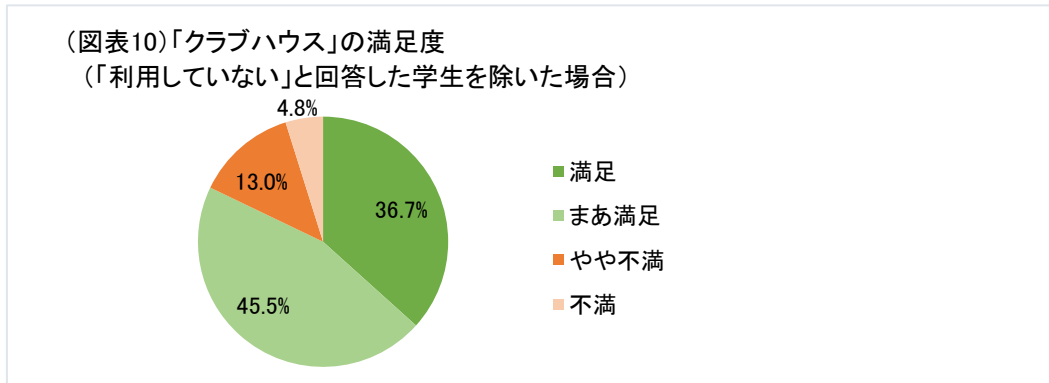
- ・「図書館の設備 (90.1%)」は3年連続、「トイレ (95.4%)」は6年連続で、肯定回答率が9割を超えている。
- ・厚生施設関係は、「売店・ブックセンター」の91.8%を筆頭に、「学食(カフェテリア101・ティーラウンジ2003)」が90.3%、「学生ラウンジ」が87.9%で、いずれも9割前後の肯定回答率となっている。
- ・「教室等の設備」「情報処理設備」「実験・実習等の設備」など、授業に関係する施設に対する肯定回答率が前年度から増加した。また、「体育施設(体育館・グラウンド・テニスコート)」は否定回答率が2.0%と全施設の中で最も低く、「利用していない」以外の回答総数を分母として算出した肯定回答率は97.4%となった。



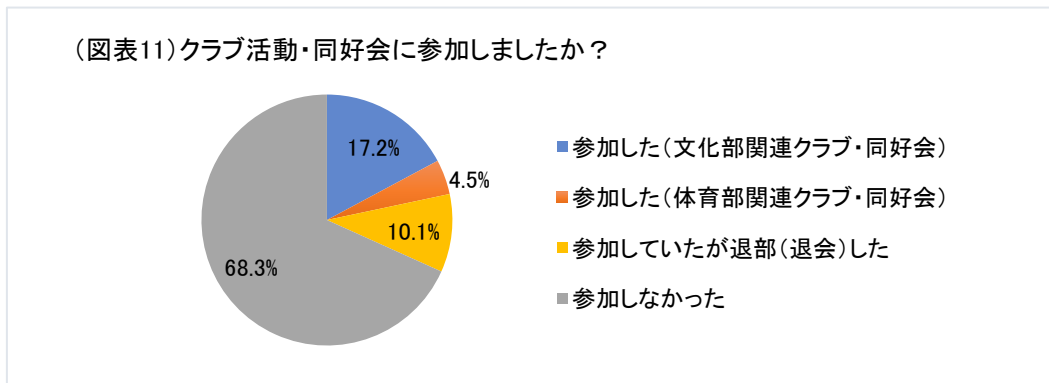
- ・「実験・実習等の設備」と「学生用ロッカー」の肯定回答率は、利用率が高い学科(「利用していない」と回答した割合が1割未満の学科)に絞ると、前者が94.1%、後者が85.1%で、いずれも前年度からは3ポイント以上増加した。



- ・「クラブハウス」は、5割弱の学生が「利用していない」と回答していることから肯定回答率が唯一5割に届いていないが、「利用していない」以外の回答総数を分母として算出すると、8割を超える82.2%の学生が肯定回答を選択していることになる。

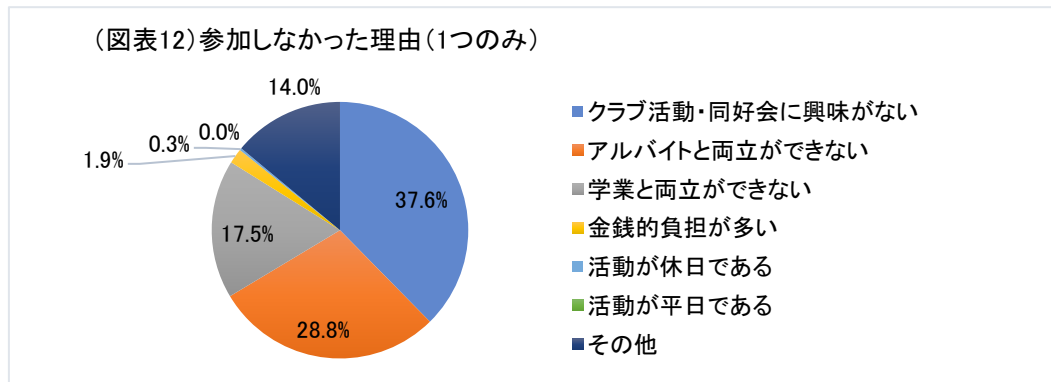


(4) クラブ・同好会について

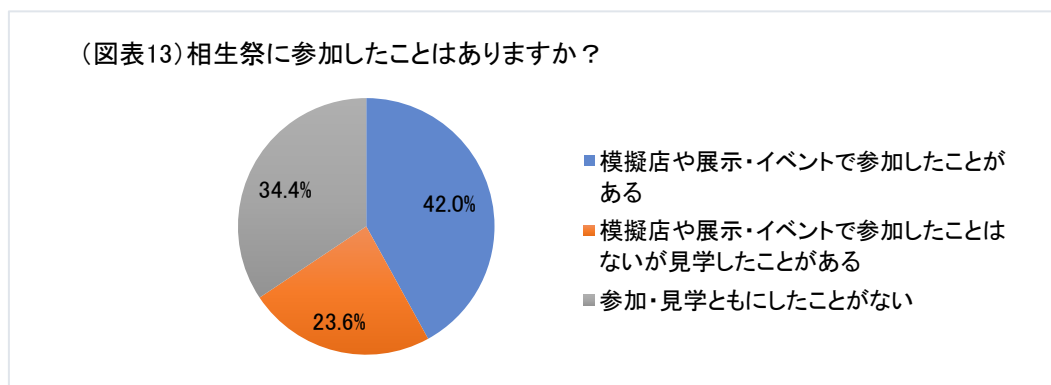


- ・在学中にクラブ活動や同好会に「参加した」経験がある学生は、退部・退会した者も含めて31.8%で、参加率はこれまでと同様に概ね3割程度であった。
- ・系統別の参加率（退部・退会した者を除く）を見ると、こちらもこれまでと同様に17.4%の文化部関連が4.5%の体育部関連を大きく上回る結果となった。
- ・参加しなかった理由としては、「クラブ活動・同好会に興味がない (37.6%)」「アルバイトと両立できない (28.8%)」「学業と両立できない (17.5%)」の3項目で回答の8割以上を占めている。この3項目の中では、「学業と両立できない」と回答した学生が前年度から6.9ポイント減少した。また、「その他」と回答した学生が14.0%

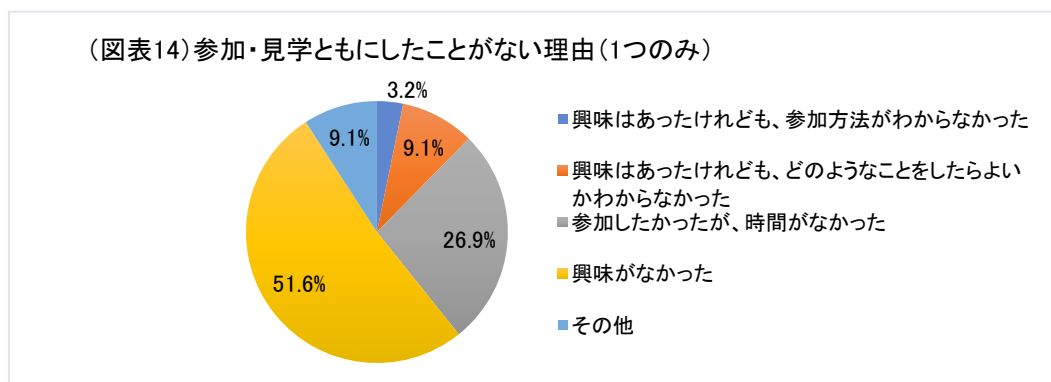
で前年度から 8.2 ポイント増加した。なお、短期大学部の学生で「その他」と回答した 14 名のうち、13 名が「コロナの影響」を理由としていた。



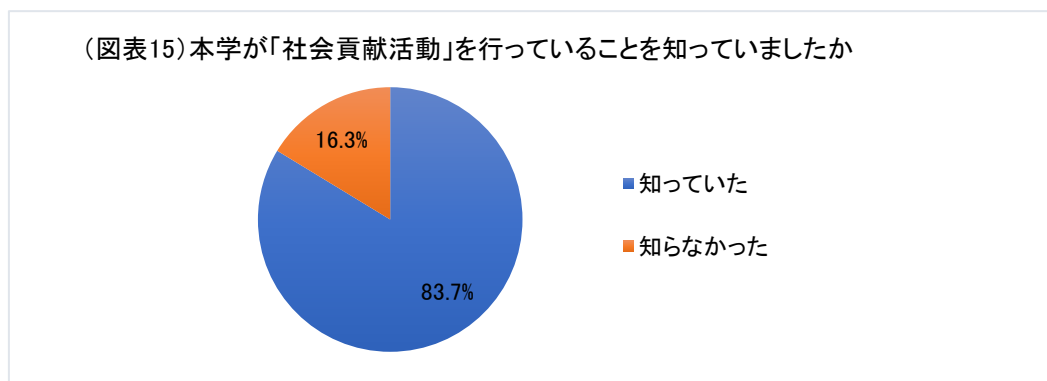
(5) 相生祭について



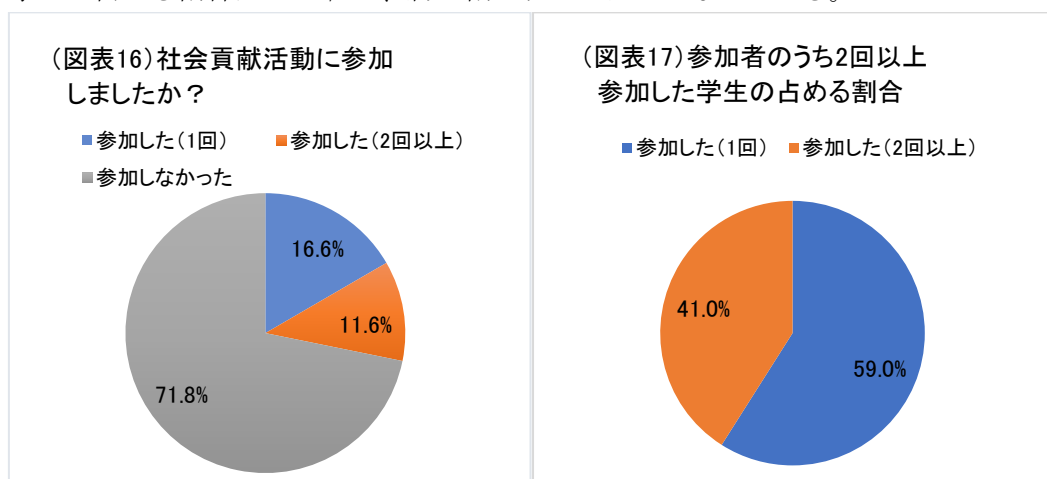
- ・「参加したことがある」もしくは「見学したことがある」と回答した学生は 65.6%で、6 割を超える学生が在学中に何らかの形で相生祭に関わったことになる。
- ・参加・見学ともにしたことがない理由としては、「興味はなかった」が 51.6%で最も多いが、その割合は 2 年連続で 10 ポイント以上減少した。一方、参加・見学をしていないが「興味はあった」「参加したかった」と回答した学生が 39.2%であったことから、非参加者の約 4 割が相生祭に興味を持っている、もしくは参加の意思がある、ということがわかる。また、「その他」と回答した学生は 9.1%で前年度から 7.6 ポイント増加したが、そのほとんどが「コロナの影響（開催中止や開催形態の変更等も含む）」を理由としていた。



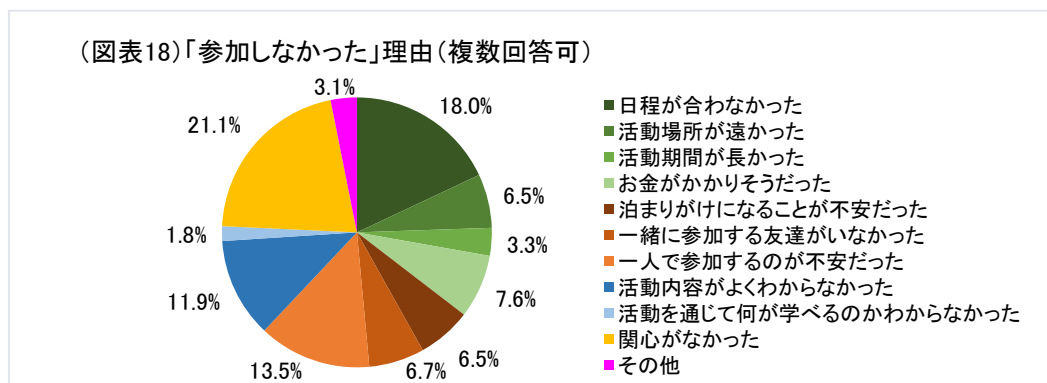
(6) 社会貢献活動について



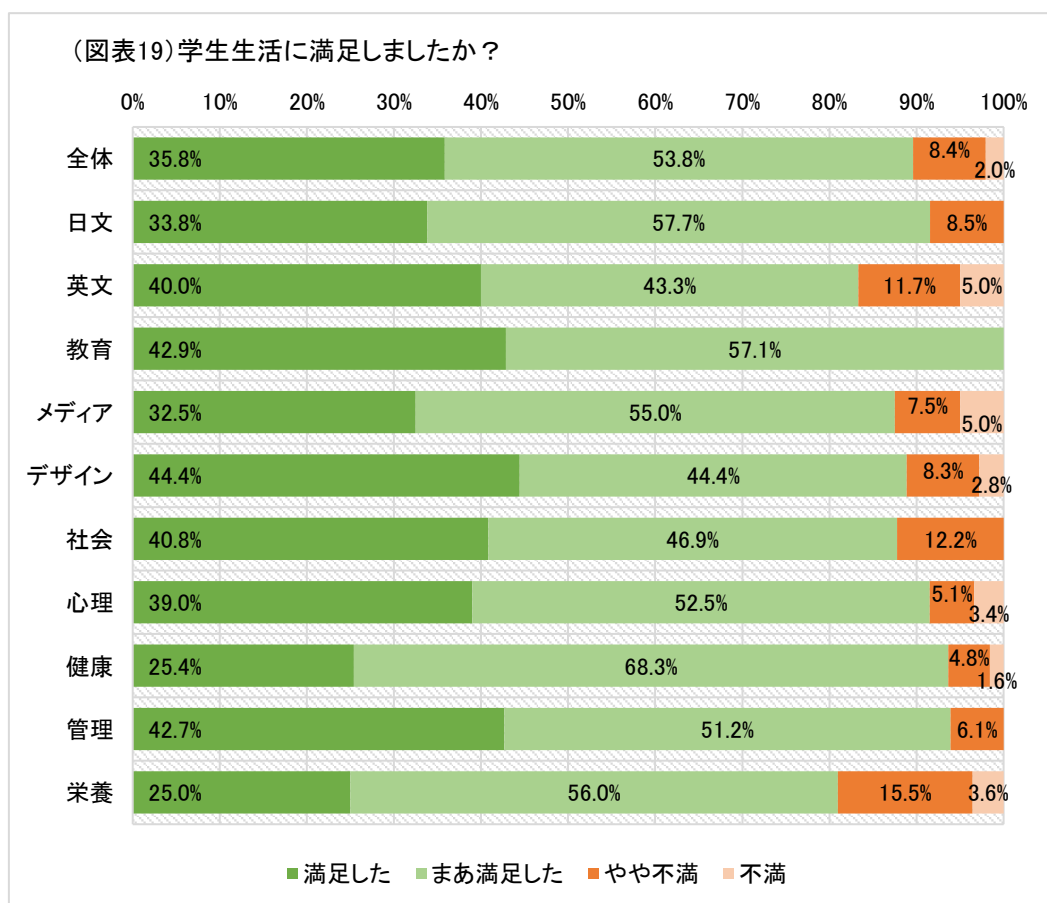
- ・本学が社会貢献活動を行っていることを、8割以上の学生が「知っていた」と回答している。また、社会貢献活動に「参加した」と回答した学生は28.2%で、リピーターとして2回以上参加した学生は11.6%であった。参加者のうち、2回以上参加した学生の占める割合は41.0%で、約4割がリピーターとなっている。



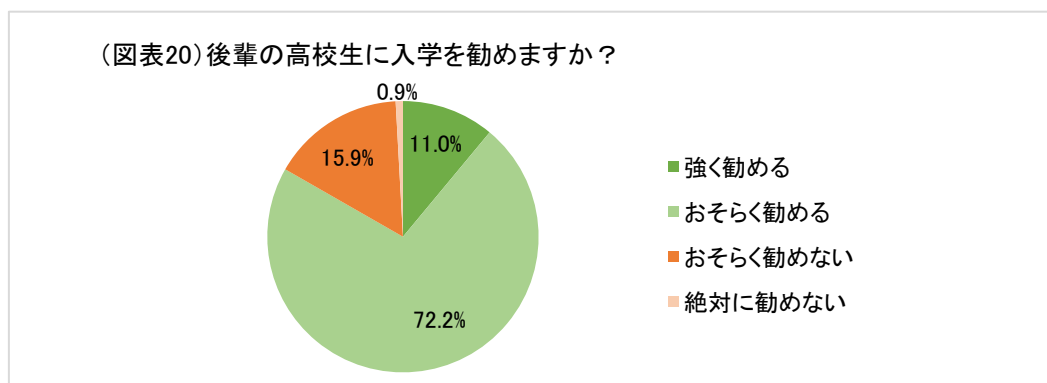
- ・参加しなかった理由を「関心がなかった」とした割合は21.1%で、前年度から若干増加したものの、一昨年度まで3割を超えていたことを考えると、比較的少ない状態を維持している。また、日程や距離、時間、経済的負担といった「物理的阻害要因」に起因する理由が35.4%で最も多いものの、前年度からは7.7ポイント減少した。その一方、宿泊することや友人不在、一人での参加といったことによる「参加への不安感」に起因する理由は、前年度から5.8ポイント増加した。なお、「その他」と回答した14名のうち、9名が「コロナ」を理由として挙げている。



(7) 学生生活を振り返って



- ・ 学生生活を振り返り、9割近い89.6%の学生が「満足した」「まあ満足した」と回答している。学科別に見ても、前年度に続いてすべての学科で8割以上の肯定回答率を維持しており、1つの学科ではすべての学生が、4つの学科では9割以上の学生が、本学での学生生活を「満足した」「まあ満足した」と回答している。
- ・ 後輩の高校生に入学を勧めるかについて、83.2%の学生が「強く勧める」「おそらく勧める」と回答している。前年度から2.3ポイント増加し、2年連続で8割以上の結果を維持している。学科別では、2つの学科で9割以上、5つの学科で8割以上の学生が「強く勧める」「おそらく勧める」と回答している。



以上